

授業科目 アスレティックトレーナー現場実習

【担当教員名】 柵木 聖也、永野 康治		対象学年	4	対象学科	スポ
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	4	時間数	180
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 アスレティックトレーナーに必要なとされる知識と技術を、実際にスポーツ現場で展開し、より実践力のあるアスレティックトレーナーを目指すための実習である。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 日本協公認アスレティックトレーナーまたは公認スポーツドクターが活動しているスポーツ現場へ参加し、そこで必要とされる様々なアスレティックトレーナーとしての技術と知識を自分のものとして定着させる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	本実習での具体的な学習内容は、下記のとおりである。				
2	(1) 見学実習				
3	(2) 検査・測定と評価実習				
4	(3) アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習				
5	(4) スポーツ現場実習（ストレッチング、テーピング、応急処置等）				
6	(5) アスレティックリハビリテーション実習（プログラム作成、実施等）				
7	(6) 総合実習				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		公認アスレティックトレーナー 専門科目テキスト1～9	(財)日本体育協会	(財)日本体育協会	
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 レポート課題を課すとともに、現地視察および報告会を実施し、それらの結果を総合的に判断して評価する。			【履修上の留意点】 上記の内容を、日体協公認ATまたは公認スポーツドクターのいる現場で学習する。単一の施設・組織で完結するのではなく、性格の異なる複数の現場で実習を行うことが望ましい。日体協によって一日の最大学習時間は3時間、一週間の最大学習日数は5日間という形で上限が定められているため、履修には相当の期間が必要であることを念頭に置いて欲しい。		